

第4号様式（第10条関係）

会 議 録（要 旨）

会 議 名	第4回武蔵村山市男女共同参画推進市民委員会
開 催 日 時	平成22年 9月13日（月）午後6時30分 ～午後8時25分
開 催 場 所	緑が丘ふれあいセンター男女共同参画センター学習室
出 席 者 及 び 欠 席 者	出席者：（委員）足立幸夫、榎本茂子、小川榮子、重野吉幸、関根明美、高橋眞澄、東宮玲子、森林育代、渡辺真紀子（欠席者）栗原誠、（事務局）地域振興課長、地域振興課主査、地域振興課主事
報 告 事 項	1 男女共同参画公開講座(第3回男女共同参画推進市民委員会)について 2 第11回YOU・Iフォーラムについて 3 その他
議 題	1 情報誌「YOU・I」第22号の発行について 2 女性センター視察について 3 第5回村山デエダラまつり出展について 4 その他
結 論 (決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。)	第4回武蔵村山市男女共同参画推進市民委員会 議題1 情報誌「YOU・I」第22号の発行について ・ 本日出された意見を踏まえ、22号担当委員が編集し、インタビュー協力者に確認してもらった後、事務局に送付する。 ・ 情報誌「YOU・I」第22号を10月1日に発行する。 議題2 女性センター視察について ・ 視察候補場所は、東久留米市男女平等推進センターとする。 ・ 日程は、11月11日（木）、11月12日（金）、11月20日（土）を候補日とし、事務局で調整する。 議題3 第5回村山デエダラまつり出展について ・ 出展内容は事務局案のとおりとする。 議題4 その他 ・ 第5回会議 10月4日（月）午後6時30分から開催する。 ・ 第6回会議 11月8日（月）午後6時30分から開催する。 ・ 女性センター視察 11月11日（木）、11月12日（金）、11月20日（土）のいずれかで調整する。
審 議 経 過 (主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。) (発信者) ○印：委員 ●印：事務局	第4回武蔵村山市男女共同参画推進市民委員会 議題1 情報誌「YOU・I」第22号の発行について ● 第22号担当委員が情報誌「YOU・I」第22号（案）を作成した。1頁は委員長からの言葉、2～3頁は特集として「わが街のイクメン・カジダンインタビュー」と題し、武蔵村山市在住のイクメン・カジダン取材し、インタビュー記事を書いている。4頁は編集後記、次号にもつなぐシリーズ化として「イクメン・カジダンメディア情報」を予定している。意見等をいただきたい。 ○ インタビューのところで、子どもと遊んでいる写真、あるいは、家族全員で写っている写真、どちらがいいのだろうか。 ○ 遊んでいる写真が自然でいいと思う。 ○ 双子を育てている家庭もあったので、大変さ等を伝える意味で、子どもの年齢はいれたほうがいい。 ○ 子どもの性別も分かったほうがいい。 ○ 男女共同参画を考える情報誌なので、「家内」、「主人」という言葉を使うべきではない。イクメンはテーマの一つであって、楽しい家庭を

伝えることが情報誌の目的ではないので言葉には注意すべきである。

- 「家内」、「主人」に置き換える言葉は何か。
- 「妻」、「夫」である。
- 意識が足りなかった。すべて夫、妻に統一したいと思う。
- 委員の中でさえ、意識していなかったので、気付きになると思うので編集後記でそのことをいれたらどうか。
- 認識不足であった。編集後記でぜひ書きたいと思う。
- 情報誌を印刷する前に、インタビューに協力してくれた3家族に内容等を確認してもらい、了解をもらうことも必要である。
- 2～3頁に特集と入れたほうがいいのか。
- 目次はないのか。
- 4頁なので、目次がなくてもいいと考えた。そのため、特集という言葉はどこにも出てこない。
- 10月1日号市報原稿で、「今回の特集は」という書き出しをしているので、特集という言葉を入れ、明確にしてもらいたい。
- 1頁の言葉で「本YOU・I誌を」とあるが、「このYOU・I誌を」のほうが分かりやすいのではないか。
- 確かに柔らかい表現を感じる。
- 裏表紙に発行元の表記が必要である。
- 委員会PRのため、委員の名前は全員載せていいだろうか。
－異議なし－
- イクメンのロゴの説明と本文が分かりづらい。
- イクメンのロゴとその説明は線で囲み、分かりやすくする。
- 編集部註の「註」はあるのだろうか。
- あってもなくてもいいとは思いますが、編集部コメントということで入れている。本人が話していないことも書いているので、編集部註は必要である。
- 文章を読んでいると、編集部註と入れなくても誰が話したかも、また編集部の客観的コメントとも分かると思う。
- 「編集部註」は削除する。
- 夫と妻が話した内容で字体を変える若しくは、囲うなどして区別し分かりやすくしてもいいのではないか。
- 字体を変え、区別させてみようと思う。
- 4頁は完成できそうか。
- イクメン・カジダン情報のシリーズ化でいいのかを諮っていただきたい。市の動きと一般的な動きがどのように連動しているのかが分かるようにしたいと考えている。
- 次回、また同じシリーズでスペースも半頁とるのか。
- 次号担当者の縛りになっても困ると思うので判断していただきたい。
- 世間がどう動いているかという情報は必要だと思う。
- 今号はどのように掲載し、シリーズ化するかどうかは次号担当者が判断すればいいのではないか。時間の経過の中で変化があったときは載せるような形をとればいいのか。
- 「メディア情報」とし、今回は特集にも挙げているイクメンについての情報を載せたとしたほうがいい。
- イクメン・カジダンメディア情報(1)の(1)を削除する。
- 客観的なことを掲載する頁にしたいと考えているので、前回実施した公開講座アンケート結果も載せたいと思う。
- スペース的に厳しいのではないか。アンケート結果は23号でという話になったかと思う。

- 確かにスペース上厳しいので、今回は掲載しない。
- 今回の意見を踏まえ、修正した原稿を9月27日までは事務局に送付してほしい。
- 完成した原稿を担当委員以外にも送付してもらえるのか。
- 次回通知と合わせ、送付するので、確認してもらい、何かあればすぐに意見を願います。

議題2 女性センター視察について

- 平成13年から他市の女性センター等を視察している。市の参考になる、興味があるなど行き先の候補の意見を願います。
- 3つ候補地を考えてきた。1つ目は、東久留米市男女平等推進センターである。武蔵村山市と同じく市制40周年、情報誌も公募市民委員による編集ということが共通する点だと思う。センターに登録している団体でパバクラブがあり、センターで推進しているということがホームページに載っていたので、委員会のテーマであるイクメンと合致すると考えた。
 - 2つ目は武蔵野市のむさしのヒューマンネットワークセンターである。センター長を中心に「センターを作ったが、どうあるべきか」というのを常に問いかけ考えている。そこに興味を持ったので、その話を聞けるかと思った。
 - 3つ目は、千代田区男女共同参画センターMIW（ミュー）である。講座等の勉強会は頻繁に開催され、そのほか研修会、映画会もある。図書の貸し出しについても、区立図書館から検索すればいいので、センターに行かなくても借りられるシステムがいい。実は、ふれあいセンターにある図書をあえて、武蔵村山市図書館で図書のリクエストをしているが、まだ返信がない。同じ市の図書なのに、連携が図れていないという印象を受けた。
- 事務局案として、1つ目は清瀬市男女共同参画センターである。市民の声を企画に生かすサポーター制度があるので、ふれあいセンターにも生かせる話を聞けるのではないかと考えた。
 - 2つ目は、平成15年に見学に行った経緯がある日野市男女平等推進センターを考えた。平成16年に旧女性センターを移転して開館している。市民運営委員について参考になるかと考えた。
 - 3つ目は、町田市男女平等推進センターである。仕事と家庭の両立推進企業賞の表彰を実施しているので、第二次男女共同参画計画でも定めているワーク・ライフ・バランス推進認定企業の検討があるので、参考に話を聞きたいと思った。
- センターを視察した結果、考えた意見を男女共同参画センターに提言するということがいいのか。
- 昨年度は視察に行った意見を、男女共同参画センター職員に意見を言う懇談会の場を設けた。今回も意見を言う場が必要だと考えている。
- 東久留米市男女平等推進センターがテーマに合っていて、委員会にとっていいのではないかと。また、武蔵野市は規模も大きいので、勉強になるかと思う。それを持って、男女共同参画センターに提案できるような見学をしたいと思うので、2つの場所に行くことはできないか。
- 視察経過を見ると、1年間に2か所行っているが、一度に2か所分かれて視察は厳しいかと思う。
- 提案できることはいいことだと思う。
- 事前に質問事項をまとめ、見学先に依頼する予定である。
- 武蔵野市では規模が違いすぎると思う。

